

## 音楽の勉強法



音楽の勉強法のポイントは、

- ①まず、音楽を好きになること
  - ②音楽のジャンルに関係なく、いろいろな音楽をどんどん聴くこと。
  - ③理論は後。まずは、やってみること。やってみてその後、理論や楽典に入る。
  - ④コンサートに行こう。生の音楽情報はエネルギーを持っている。
- ということが基本です。その上で、音楽科からの勉強法のアドバイスをします。

### 授業の受け方

- (1) 学習用具（教科書、アルトリコーダー、プリント、ファイルなど）の忘れ物を絶対にしない。
- (2) 音楽室では、学習のねらいが達成できるように、いつも落ち着いた気持ちで、授業にのぞむようにする。
- (3) 歌うときは、積極的に大きな声を出し、曲想に気をつけながら楽しんでやるのが大切です。
- (4) 合唱や合奏においては、パートやグループの仲間とリズムや音程を合わせる楽しさを味わい、協力して活動に取り組もう。
- (5) 音楽用語や（p や f、rit や Moderato など）は、合唱やアルトリコーダーの演奏を通して、覚えましょう。
- (6) 「鑑賞」のときは、静かにし、耳と目（教科書）を集中させ、よく聴き取ろう。



### 家庭学習の仕方

- (1) 旋律や歌詞の確認など、次の授業に困らないように復習をして下さい。
- (2) 合唱コンクールなどでは、担当する旋律を録音して、家でも聞いたりするといいでしょう。
- (3) アルトリコーダーも指使いがすらすらできるように、家でも基本的な練習をしよう。
- (4) 生活の中に音楽を取り入れ、身近なものにしよう。音楽情報や生演奏を聴く機会をつくり、積極的に鑑賞しよう。

### テスト勉強の仕方

- (1) 期末テストは、授業で習ったことが出題されます。教科書に書かれている試験範囲の文章を何度も読んで覚えましょう。
- (2) 音楽用語や記号は、読み方や意味をノートに整理して覚えましょう。表にするとわかりやすい。
- (3) 試験範囲の曲名や作者名も確実に覚えましょう。
- (4) 歌のテストの場合や期末テストのときなどに歌詞を覚えていない人がいますが、何も見なくても歌えるようにしておきましょう。
- (5) アルトリコーダーの指使いも、図を書くなどして正確に覚えておきましょう。